

マイノリティ女性フォーラム設立

経緯：2001年の反人種主義・差別撤廃世界会議で「複合差別」について議論がなされて数年後、私たちアイヌ女性、部落女性、在日コリアン女性は自らの実態を明らかにするために独自でアンケート調査を開始しました。それをきっかけに、マイノリティ女性フォーラムの名のもと私たちは北海道、大阪、沖縄そして東京で集い、問題共有と意見交換を重ねてきました。女性でありマイノリティコミュニティに属することで被る複合差別について国連で議論が進められてきたことを力に、私たちは2003年、2009年そして2016年の女性差別撤廃委員会による日本政府報告書審査の場において委員たちに積極的な働きかけをしました。マイノリティ女性が直面する課題に関して委員会から出された勧告は具体的で示唆に富むものであり、私たちの今後の活動の大きな糧となりました。これまでの歩みと成果を大切にしながら、マイノリティ女性の権利実現のために共に活動をしていくことを目指してマイノリティ女性フォーラムを正式に立ち上げることにしました。

名称： **マイノリティ女性フォーラム**

設立： 2017年3月8日

構成団体： 部落解放同盟中央女性運動部
 札幌アイヌ協会
 アプロ・未来を創造する在日コリアン女性ネットワーク
 反差別国際運動（IMADR） **他のマイノリティコミュニティが将来加入する可能性有

共同代表： 山崎鈴子 （部落解放同盟中央女性運動部）
 多原良子 （札幌アイヌ協会）
 ^{リウォルスン}李月順 （アプロ・未来を創造する在日コリアン女性ネットワーク）

事務局： 反差別国際運動（IMADR）

目的： マイノリティ女性の可視化と認知
 マイノリティ女性が直面する差別の撤廃と権利の促進
 マイノリティ女性間の連帯とシスターフッドの育成

活動： 1、マイノリティ女性フォーラムの開催
 1、国連人権システム、とくに女性差別撤廃委員会の活用
 1、国連勧告の実施のための政府交渉
 1、マイノリティ女性コミュニティ相互の情報交換

**会の名称は先住民族であるアイヌ女性の了解をえて、マイノリティ女性という総称を使っています。